

表題 レジリエントな地域医療ネットワークの構築

特色ある取組

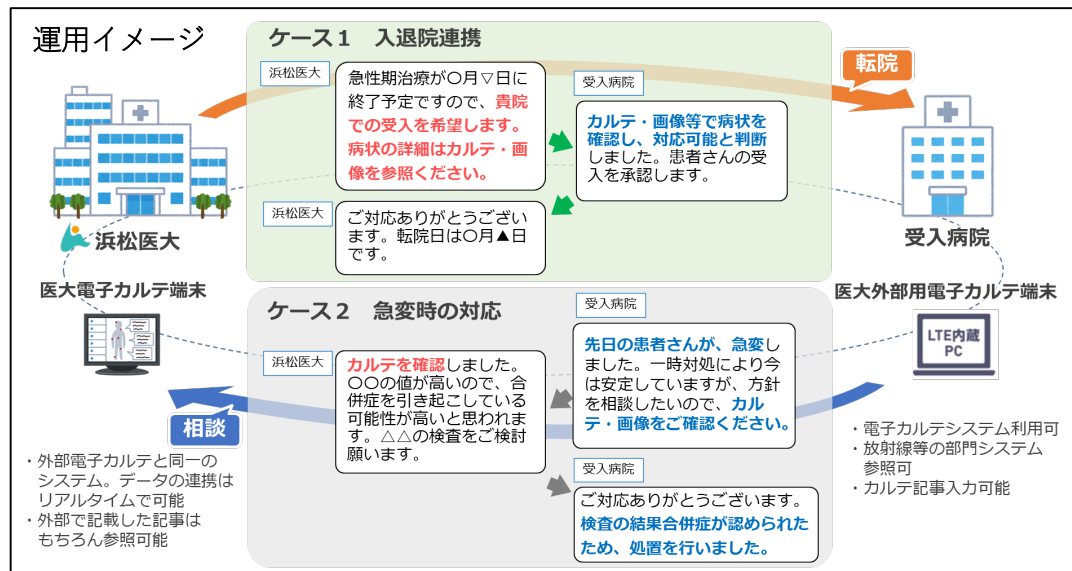
政府が主導する地域医療構想に基づき地域内にある**病院の役割を見直し、効率的かつ質の高い医療提供体制の構築**を図るため、本学附属病院では新たに**電子カルテを院外から安全かつ容易に接続するシステム**の導入を進めている。

特に昨今の**コロナ禍において医療機関間の役割分担・連携体制の構築はさらに重要度を増している**状況にあり、本システムにより、医師のテレワークによる働き方改革支援に加え、登録医が活用することで**レジリエントな地域医療ネットワークの構築**が実現する。

期待できる成果・評価 など

本学附属病院では最新の手術検査設備を備えた「**医療機能強化棟（仮称）**」の稼働（令和4年1月）により高度で低侵襲な手術等が可能となる。迅速な情報連携を強みとする地域医療ネットワークは、本院で急性期治療を終えた患者さんが**連携先の病院でも安心して治療を継続**するための基盤として重要な役割を担う。

さらに**新興感染症の流行時や災害時には**、このネットワークを活用し、**患者さんの病状に応じた最適な医療を提供**する体制強化にも貢献する。



- 診療データを扱うため情報セキュリティにも万全の対策を実施
- インターネットを経由せず、**無線閉域網**を経由することで侵入リスクを排除
 - リモート接続のため、**PCに診療データは保存されない**
 - ログインは**2要素認証**（職員証ICカード+パスワード）で不正アクセス防止

